

1 本園の教育目標

しなやかな心と体の子供  
 ・生き生きと遊ぶ子供 ・力強く生きていく子供 ・自分も友達も大切にしている子供

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

努力目標 自分大好き、友達大好き、幼稚園って楽しいな  
 ～居心地の良い幼稚園を目指して～

努力目標の達成に向けて、保育内容、環境構成、教師の援助について考え、保育実践する。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
努力目標の達成	B	一人ひとりの気持ちや姿を大切に受け止め、安心できる関わりや環境作りを意識したことで、幼児たちが心地よさを感じながら、友達と遊ぶことを楽しむようになった。
職員の資質向上	B	園内外の研修を計画的に実施し、幼児の姿を捉えた保育内容や教師の関わり、環境構成について振り返り、次の保育に活かすことで資質向上につなげた。
特別支援教育の推進	A	一人ひとりの発達や特性、課題を踏まえ、目標を設定し、職員間で共通理解を図りながら個々に応じた支援を行った。他機関や家庭とも連携し、幼児と保護者の理解、支援につなげることができた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	幼児理解に努め、一人ひとりを大切にしたい安心できる環境づくりと、発達や姿に応じた保育を実践し、職員間で共通理解を図る中で、幼児は自分と友達の違いに触れながら友達の良さに気づき、友達との関わりを楽しみながら遊べた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育内容の工夫	幼児同士の関わりが広がるような環境や活動を工夫し、個々の育ちを保障しながら、集団としての経験も保障できる保育について考え、実践する。
地域との交流	地域の施設との交流はその目的を明確にして、内容や回数を精選しながら実施する。交流を通して多様な関わりが経験できるようにする。
特別支援教育の充実	一人ひとりの特性を理解し、個々に合った支援の方法を考え丁寧な対応を心掛ける。巡回相談を活用し、他機関との連携しながら、幼児・保護者理解と支援につなげる。特に就学支援に努める。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である